

2024年03月19日（火）【外為Lab】松田哲

タイトル：【日銀の金融政策】

昨日今日（2024年3月18日、19日）の日銀金融政策決定会合で、マイナス金利政策の解除を決定した。

マイナス0.1%としていた政策金利を、0~0.1%程度（無担保コール翌日物レート）に引き上げた。

長期金利を低く抑え込むための長短金利操作（イールドカーブ・コントロール、YCC）の終了も決定した。

上場投資信託（ETF）などリスク資産の買い入れ終了も決定した。

日銀の大規模緩和は事実上、終わることになる。

ただし、マイナス金利解除後も「当面、緩和的な金融環境が継続する」としている。

+++++

今日（2024年3月19日）の日銀金融政策決定会合の結果が発表された後の外国為替市場では、むしろ、「ドル買い円売り」が進んでいる。

それは、今回の日銀の政策変更の内容が事前に予想されており、いわゆる「織り込み済」だったから、と言えるのだろう。

かつ、今日明日（2024年3月19日、20日）にFOMCを控えているので、米国の金融政策の結果を待ちたい、と考えているためだろう。

ちなみに、今回（2024年3月19日、20日）の米国の金融政策では、米国政策金利据え置きを予想する向きが大勢を占める。

そのため、今日（2024年3月19日）の日銀の政策変更にもかかわらず、「ドル買い円売り」が進んだ、と考えます。

+++++

しかしながら、主要国の中で、ほぼ唯一、金融緩和政策を採っていた日銀が、利上げに向かったことは、重大な変化だ、と考えます。

今後のマーケット（外国為替市場）に、大きく影響が出る、と考えます。

++++
++++

本日（2024年3月19日）は、RBA（オーストラリア準備銀行、豪中央銀行）の政策決定会合も開催された。

豪政策金利であるオフィシャル・キャッシュレートの誘導目標を、4.35%に据え置くと決定した。

豪政策金利の据え置きは、事前予想通り。

++++
++++

（2024年03月19日東京時間15：00記述）